

健康特集 ～腎臓と胃～

【第1部 17:00～】

『腎臓のはなし～腎臓が悪いといわれたら～』

腎臓は、血液をろ過して老廃物を尿として排出する役割を担っています。腎臓の病気は自覚症状が現れにくく、高血圧やむくみなどの初期症状があっても見逃されがちです。しかし、治療せず放っておくと最悪の場合、慢性腎不全になり腎機能の回復の見込みがなくなる恐れがあります。日本腎臓学会の疫学調査によれば、日本人8人に1人が慢性腎臓病を発症していると推計されています。

今回、その腎臓の病気と治療について、腎臓内科 准教授 長岡 由女 医師が詳しく解説をいたします。

【第2部 17:45頃～】

『ピロリ菌がいるといわれたら』

胸やけ、吐き気、空腹時の痛み、胃もたれ、食後の腹痛、食欲不振などはありませんか？もしかすると、それはピロリ菌が原因かもしれません。ピロリ菌は、感染すると胃の粘膜に生息し、ひどい場合は胃炎や胃潰瘍などを起こします。世界保健機関（WHO）の専門組織「国際がん研究機関」は、2014年に胃がんの8割がピロリ菌の感染が原因とする報告書をまとめています。

今回、そのピロリ菌による病気について、総合診療科 講師 川上 浩平 医師が詳しく解説いたします。

■日 時：平成30年10月19日（金）

開場 16:30

開演 17:00～

閉演 18:30（予定）

■会 場：東京医科大学病院

本館6階 臨床講堂

（最寄駅：丸ノ内線 西新宿駅）

■入 場 料：無 料

■申し込み：事前の申し込みは不要。当日は会場に直接お越しください。

■お問合せ：東京医科大学病院 総務課 ☎ 03-3342-6111(代)

※尚、座席数に限りがございます（320席）。満席の場合は入場をお断りする場合がございますので予めご了承ください。

共催：東京医科大学

東京医科大学病院 生涯教育センター

東京医科大学病院 総合相談・支援センター

公益財団法人 東京医科大学がん研究事業団

東京医専

